

東京×北海道の公立大学連携が実現 東京都立大学と旭川市立大学が包括的連携覚書を締結 — 社会課題の解決や価値創造に資する協働取組を推進 —

東京都立大学と旭川市立大学は、2026年7月8日付けで、包括的連携覚書を締結しました。本覚書は、両大学が相互に協力・連携することにより、社会課題の解決や新たな価値創造に貢献できる人材の育成を推進するとともに、大学教育の充実とそれを実現するための大学業務の効率化に資することを目的としています。

本連携においては、東京都立大学が2028年4月に開設を予定する共創学部等と、旭川市立大学の経済学部等及び2026年4月に新設した地域創造学部との協働により、異なる地域特性を活かした教育研究の展開や教職員の連携を通じて、分野横断的かつ実践的な学生の学びを相互に深めます。

さらに、学生の相互受け入れ（国内留学）を通じて、地域社会と国際社会の双方に貢献できる人材の育成を進めます。

（参考）各学部の概要

○東京都立大学共創学部

(Faculty of Global Innovation and Development : ^{グライド}GLIDe)

- 開設時期：2028年4月（予定）
- 入学定員：75名（日本人学生50名程度、留学生25名程度）
- 開設場所：東京都立大学南大沢キャンパス（東京都八王子市南大沢1-1）
- 特色：文理の枠にとらわれず、地域社会・国際政治・開発経済・都市科学・生態保全の5つの領域を有機的に結びつけ、課題解決に取り組む新しい学びを提供する。教授言語は原則として英語とし、世界で活躍できる人材の育成を目指す。

○旭川市立大学経済学部

- 開設時期：1968年4月（旧法人による開設）
- 入学定員：100名
- 所在地：旭川市立大学（北海道旭川市永山3条23丁目1-9）
- 特色：経済・経営・会計の視点から企業活動や社会の動向を分析し、課題を発見・解決する力を養う。グローバル（ローカル＋グローバル）な視点を持ち、社会の変化に柔軟に対応しながら、地域社会やビジネスの発展に貢献できる人材の育成を目指す。

○旭川市立大学地域創造学部

- 開設時期：2026年4月
- 入学定員：100名
- 所在地：旭川市立大学（北海道旭川市永山3条23丁目1-9）
- 特色：地域課題をテーマにPBL（プロジェクト型学習）やデータサイエンスを活用した実践的な学びを展開する。地域住民や企業、行政との協働を通じて新たな価値を創出し、地域の未来を創造する人材の育成を目指す。



東京都立大学



旭川市立大学

（問合せ先）

東京都公立大学法人開設準備室開設準備課事業推進係
（直通）042-677-2555

公立大学法人旭川市立大学事務局総務課総務担当
（直通）0166-48-3121